



秋の沢旅を満喫！

八幡平 大深沢～北ノ又沢

浅井・煤孫

【日時】 2011年10月8日（土）～10日（月）

【メンバー】 L浅井、煤孫

三年前のこの時期に煤孫さんで行こうとした奥利根の水長沢が流れて以来、毎年今年こそは水長沢へという話が出るのだが、今年は様々な事情でモチベーションが上がらず、それならばと急遽八幡平の大深沢に行くことにした。大深沢は昔葛根田に行つて以来、是非行きたいと思っていた沢だ。夏は蚊が多いと聞くので、できれば秋の紅葉の時期に行きたいと思っていた。今回は天気もよさそうなので、絶好のチャンス到来だ。（浅井記）

10月8日 曇り時々晴れ（浅井記）

大深沢へのアプローチの方法はいくつかあるが、09年の手嶋さんの記録などを見ると最近では玉川温泉へ至る国道から黒石林道を車で奥まで入るのが一般的のようだ。そこでいろいろ調べた結果、我々は夜行バスと新幹線で田沢湖駅まで行き、そこからタクシーで林道奥まで入ることにした。タクシー代が気になるが、田沢湖駅のタクシー会社に問い合わせたところ、12000円程度で行ってくれるという。田沢湖駅からバスに乗って黒石林道入口で下ろしてもらい、林道を歩く方法もあるが、この林道はゲートまで10キロくらいあるようなので、歩く労力と時間を考えればこのくらいの出費はやむを得まい。

前夜、横浜および新宿発の盛岡行き夜行バスに乗る。人気の「ドリーム盛岡号」は既に満席だったので、ネットで調べたら楽天トラベルが仲介している「JAMJAMライナー」がかろうじて取れた。ただしこのバスは座席間が狭く、あまり快適ではなかった。盛岡駅で朝食を食べ、朝一番の新幹線で田沢湖駅に向かう。盛岡駅では昔お世話になったMさんに偶然お会いした。Mさんは主催する塾で葛根田に行くという。Mさんとは8月に小川君と御嶽山の鈴ガ沢に行った時も帰りの温泉で偶然お会いした。それまでしばらくご無沙汰していたのだが、こうして元気なお姿を続けて2回も拝見できたのでうれしい気持ちになった。

8:31、田沢湖駅着。ここで予約していたタクシーに乗り、国道を北上して黒石林道へと向かう。田沢湖駅までは晴れていたが、途中で空模様があやしくなり、雨まで降ってきた。どうやら昨日低気圧が抜けた後、冬型の気圧配置になり、その影響がまだ残っているようだ。ちょっといやな気分になるが、国道から黒石林道へ入る頃には雨は上がってきたのでほっとする。

9:30、大深沢の発電所に下りる分岐だという所でタクシーを降りる。タクシー代は約束

通り12000円。運転手は良心的な人で林道の途中でメーターを切ってくれた。ここはもし



林道入口から歩いたら相当な距離があるので、やはりタクシーにして正解であった。さてその分岐から下りてみるとすぐ藪っぽくなり、事前にネットの写真などで見ていた所とは印象が違ふ。そこで林道に戻り、たまたま通りかかった地元の人に聞いてみると、大深沢に下りる道はもう少し先だという。そして親切にもそこまで車で乗せて行ってくれるという。そのご好意に甘え、本来の下り口のゲートがある手前までその方の車で送ってもらった。話を伺うと、その方は大曲からきのご採りに来たとのこと。ここには毎年来ているが、今年是不作で今日もほとんど採れなかったという。この林道は春はタケノコ、秋はきのこ目当ての人で賑わうようだ。

車で送ってもらったので、時間もだいぶ節約でき、10:40、車止めのゲートを出発。しばらくは広い林道が大深沢の方へと下っていく。この林道はなぜか地形図にも道路地図にも載っていないので現在地がつかみにくい、石仮戸沢を横切る辺りでおおまかな位置は推測できた。ようやく大深沢の流れが見えてきて、11:20、吊橋を渡り左岸に移る。ここで再び空が暗くなり雨が降ってきたので、小休止。雨が小止みになったところで、発電所の堰堤目指して左岸沿いの広い道を辿る。12:20、堰堤先の広い河原に下り立ち、ここから遡行開始。

初めて見る大深沢は水量も多く、沢というより川のような豊かな流れだ。今日は昨日までの雨で水量も多めなのか、渡渉すると強い水圧に負けそうになるほど。おまけに水がやたらと冷たい。水量が多いので、水に対する恐怖心すら覚える。

ソヤノ沢を過ぎるとゴルジュっぽくなり、一箇所左から巻いて懸垂で下りた所もあった。釣り師も多く入る有名沢なので、怪しげな残置ロープもあるが、あまり信用はできない。ゴルジュを抜けると再び広い河原歩きとなり、15:15、テン場予定地のヤセノ沢出合に着く。ここは事前の記録で見ていた通り、ヤセノ沢に少し入った右岸に絶好の幕場があったので、ここにテントを張った。ただしここは釣り師が残していったと思われるゴミが散乱しており、それだけが興ざめであった。その夜は快適な焚き火を囲んだが、かなり冷え込み、寒さで熟睡できなかった。

10月9日 晴れ (煤孫記)

今日がメインの日だ。朝からとても天気がよかった。8:10に幕場を出発する。

しばらくしてゴルジュが現れた。側壁がつるつるでへつれそうもないので左から巻いたが最後は懸垂下降。残置のシュリングを付け替えてザイルで懸垂した。

8mのド迫力の滝が現れた。左から簡単に巻いたが、後から手嶋Pの記録を見たら左から登った滝のようだ。こんなド迫力では登る気がしない。今回は水量が多いのだろうか。

11:15に障子倉沢出合に着いた。しばらく現在地が分かっていなかったが、ようやく現在地が特定できた。遠くに横広の滝が見えた。行ってみると横広の滝は5mくらいで簡単に越えられた。

関東沢出合を過ぎて、12:40に通称「ナイアガラの滝」に着いた。滝の下で休憩。幅広の

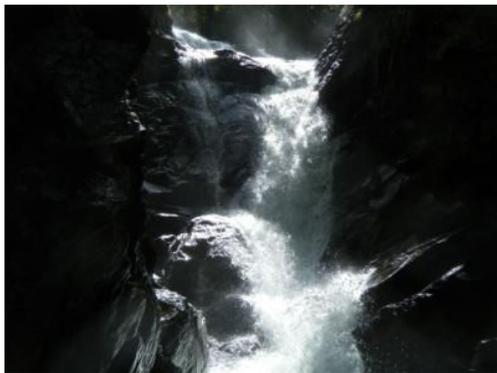
滝は2条になっていて、残置ロープが中央にかかっている。ここしかルートがない。浅井さんに「どっちがリードする？」ときかれたが、私は大分疲れていたもので浅井さんにリードしてもらった。浅井さんは上部テラスまでは簡単に登り、その灌木で最初の支点を取った。その上でちょっと手こずったが、灌木を使って登った。

ナイアガラの滝を登ったら、その上は水量豊かな美しいナメが紅葉に映えて絶景だった。来て良かった！

13:20に東ノ又沢出合に着いた。北ノ又沢も東ノ又沢も紅葉に映えた美しいナメが見えた。本流の北ノ又沢に入り、美しいナメをしばらく歩く。ナイアガラの滝とその上の美しいナメのセットの、スケールをだんだん小さくする感じで同じような光景が繰り返された。紅葉に囲まれた滝を登り、紅葉に映えたナメを歩く。一步一步が幸せだった。

この日は大深山荘まで行く計画だったが、遅くなってしまいそうなので沢中で泊まることにした。15:00、1240m付近に2人天1張分の適地を見つけて幕場とした。

この日の夜も焚火をしても寒かった。しかしテントの中は暖かく、朝までぐっすり眠った。



写真左上：8mド迫力の滝

写真右上：8m横広の滝

写真左下：通称「ナイアガラの滝」

写真右下：「ナイアガラの滝」の上の美しいナメ

10月10日 曇り (煤孫記)

昨夜はとても寒かったのに、朝は暖かった。天気は下り坂のようだ。8:15に幕場を出発。少し歩くと小滝が連続した。これで一気に高度を稼いだ。小滝帯を過ぎると開けた光景になる。この後はずっとなだらかな地形が続いた。しばらく歩くと広大な美しい湿原があった。

湿原に沿って歩いてしまうと登山道と平行になってしまうので、左から入った支沢に入る。このあたりは地形図を見てもどこが沢型かわからない。沢型に沿って歩くが蛇行している所以で現在地が分かりにくい。

沢型がなくなってからが長かった。東北の藪は手強いと思った。雪の重みのせいか笹が斜めに生えている。漕ぐのは大変なので、なるべく踏みつけて進んだ。傾斜がないので、磁石を見ながら進む。昨日、無理して登ってきたらこのあたりで日が暮れたことだろう。昨日は沢中で泊まって正解だった。稜線を少し越えたところで、10:30、登山道に出た。約1時間の藪漕ぎだった。

大深山荘の手前に出たつもりだったが、大深山荘を過ぎていた。ここまで平坦な地形だと読図が難しい。稜線に出たあとは登山道をゆっくり下り、13:20、松川温泉に着いた。



写真左：小滝帯の上の平坦な流れ



写真右：広大な湿原

【グレード】3級下

【行程】 10/8 黒石林道ゲート(10:40)～堰堤先入渓点(12:20)～ヤセノ沢出合(15:15)
10/9 C1(8:00)～障子倉沢出合(11:15)～関東沢出合(11:55)～ナイアガラ滝(12:40)
～東ノ又沢出合(13:20)～北ノ又沢1240m付近(15:00)

10/10 C2(8:15)～登山道(10:30)～松川温泉(13:20)

【地形図】玉川温泉、八幡平、曲崎山、松川温泉